

広報特別委員会記録

令和6年11月18日

【開催日】 令和6年11月18日（月）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後3時48分

【出席委員】

委員長	恒 松 恵 子	副委員長	古 豊 和 恵
委員	岡 山 明	委員	福 田 勝 政
委員	松 尾 数 則	委員	矢 田 松 夫

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

事務局次長	中 村 潤之介	議事係書記	末 岡 直 樹
-------	---------	-------	---------

【審査内容】

- 1 市議会モニターへのアンケートについて
- 2 インスタグラムの動画発信について
- 3 その他

午後1時30分 開会

恒松恵子委員長 それでは、広報特別委員会を開会いたします。本日の付議事項につきましては、1、市議会モニターへのアンケートについてです。先日の委員会でモニターのアンケートについて皆様にお諮りいたしました。そのアンケートに基づきまして、一つずつ皆さんと回答を考えていきたいと思います。まず、一つ目の「重要な項目などは現行の字体、大小、黒の白抜きを継続すべきです。インパクトがあって読みやすい」という御意見については、感想でございますので、このまま回答はなしでいきたいと思いますがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）続きまして二つ目の御意見は「上記同様に印象すべき事項は波線などの野線を加えては」という御意見につきましては皆さんいかがでしょうか。

古豊和恵副委員長 この印象すべき事項というのは、個人が印象に残したいところに罫線を引くということによろしいですかね。

恒松恵子委員長 そうですね。議会だより全般に、印象すべき重要な事項については波の線を加えてはということです、印象づける編集方法の工夫の一つとして取り入れるということです。印象づける記事が何になるかはそのモニターと使いが一致するか分かりませんが、議会といたしまして、市民の皆様にぜひ知らせたいことについては、従来どおり黒くしたり文字を大きくしたり工夫はしておりますので、印象づける編集方法の一つとして、波線などの罫線をこれからも入れていけたらと思いますが、皆さんもそのほか御意見はございますか。

松尾数則委員 実例を挙げてもらわないとよく分からないところがありますが、ただ、波線を引いたら印象深くなるかどうかはちょっと分からない。どうしてもそういうところがあるなら波線を引けばいいんじゃないですか。

恒松恵子委員長 議会だよりには波線はあんまりないですけど、そういう場合には字を大きくしているので、特別必要なことがあれば線などを加えるという提案として受け入れるということで、このたびは委員会の回答としたいと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは次の御意見です。「市長自体の回答がない」ということに関しましては、これにつきましても議会が発行するものですので、市長の回答については市長の答弁であるとか、皆さんの一般質問のページ等でデータを集約できるのではないかと思いますので、議会が発行するものであるという回答になろうかと思いますが、いかがでしょうか。

古豊和恵副委員長 委員長の意見に賛成です。

恒松恵子委員長 それでは、議会が発行するものでございますので、「市長自

体の回答がない」ということには、そのような回答で御理解いただこうと思います。また執行部の議会だよりの委員会レポートなどにありますQ & Aのアンサーにつきましても、市長に代わる回答になると解釈しておりますので、そのように回答したいと思います。それでは次の、「The 市議会」はおおむね3か月に1回の発行のようである。薄い本であるから背表紙はない。こういう薄物の本は表紙を工夫しないと、どの号にその記事が掲載されていたのか判断しにくい。例えば、添付見本のよ様に大きな項目を表紙に列記して、何が掲載されているのかを明確にする。ページ数は末の13ページぐらいの下半分に列記する。アニメはなししか小さくてよい」という御意見ですけれども、こちらの意図については皆さんどのように捉えられましたか。

松尾数則委員 これは例えば3月号に1年間の内容を書けるとか、そういうことではないかという気はします。恐らく執行部に迷惑をかけるので、載せられるなら載せたほうがいいのかもかもしれません。時々雑誌によってはそういう内容の載せ方をしているところもあると思います。

恒松恵子委員長 松尾委員の御意見ですが、そのほか何かございますか。

矢田松夫委員 今、松尾委員が言った意味がよく分からんね。分かりますか。
分からんなら分からんで委員長がもう一回言ってもらよう言わないと。

恒松恵子委員長 松尾委員、今おっしゃられたことが、質問に対する回答かどうかの意味になっていらっしゃらないような気がするんですが。これは多分背表紙がないっていうのは。

松尾数則委員 背表紙がない。つまりもっと厚くすればという。（発言する者あり）そういうものだから厚くすればいいって問題じゃなくて、この内容は基本的には何月号に何が載っているかを知りたいんじゃないかという気がします。だからそういった内容のものを設ければいいんじゃない

かなっていう気がする。背表紙がないっていうから、裏から見てこの本はどこに何が載っているか分かりづらいという見方であれば、別枠で、例えば先ほど言ったように3月号だけに、この1年間の掲載記事の目次が分かるようなものを載せるということが言いたかったのではないかなと思っているんですけど。

恒松恵子委員長 松尾委員の御意見が何となく分かりました。私の解釈は、3か月に1回の発行なので、何が掲載されているのかを議会だよりの中で明確にしてほしいというふうに捉えたんですけれども、ほかの委員の御意見はございますか。

矢田松夫委員 今、松尾委員が言うことが全く分からんのよね。だから委員長、例えばこの議会だより9月号を見て質問なり発言なりをしないと分かりますか。分からないでしょう。この中で言うと目次が書いてあるわけです。何ページに何がありますって書いてあるわけ。これよりまだ違うことをしろというのかどうなのかという説明をしていかないと何をしているか分からない。

松尾数則委員 私は、恐らく何月号に、どういう記事が載っているのか知りたいという意味かと思って、そういう発言をしました。

恒松恵子委員長 松尾委員は何月号に何が載ってほしいということは、1年間通して発行してないので、現在中学生からの御意見を基に、この議論の表紙の中にはページ数を入れるなり改良しております。おおむねそれに対応するという趣旨だと皆さん解釈されていますので、そのような回答で皆さんよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）現在は工夫しているということで回答したいと思います。そして、それでは次の御意見でございます。市議会ってどんなところ、分かりやすく説明。

矢田松夫委員 アニメはなし、小さくしてってどういう意味だろうか。アニメ

というのはカット集のことやろうか。小さくしてよいというのはこれど
ういう意味だろうか。回答のしようがないような質問です。三つも四つ
も質問があるわけだから一つ一つ区切ってやらないと、全体的に読むと
何の質問、何の議論をしていいのか分からない。委員長が詳しくかみ砕
いて言えればいいけど、委員長自身も分からない。僕も分からんのよね。
ここのT h e市議会の以下ずっとと思うんだけどどうだろうか。整理し
ていったほうがいいんじゃないかね。でないと回答がでкинよ。

恒松恵子委員長　今、矢田委員のおっしゃるように、区切っていきましょう。
戻りますが、「T h e市議会はおおむね3か月に1回の発行のようであ
る。薄い本であるから背表紙はない。こういう薄物の本は表紙を工夫し
ないとどの号にその記事が掲載されていたのか判断しにくい」で区切り
ますと、やはり表紙が薄いから背表紙がないので何号にその記事が掲載
されていたのか判断しにくいということですが、それは過去を振り返っ
て、それぞれ皆さん議会だよりを熱心に見ていただいているという解釈
でいきますと、背表紙につきましては、もう薄いのは予算の関係で仕方
ないと思います。表紙の工夫については、以前の議会だよりで取ったア
ンケートですし、表紙も前回より中身が何か分かりやすくなっておりま
すので、現在は改善されているという回答になろうかと思いますが、い
かがでしょうか。

松尾数則委員　委員長が言われているように、表紙を見たら一目で何が載っ
ているか分かるというのはもう改善されたと思っています。そういう見方
であれば、今回も既に改善されていると思います。

恒松恵子委員長　ではもう改善されておりますと。質問を分けたら確かに分か
りやすくなりました。続いて、「例えば、添付見本のように大きな項目
を表紙に列記して、何が掲載されているのかを明確にする」で区切りま
すと、先ほどと同様になります、現在は大きな項目を表紙に列記して、
中身が何かは明確にされておりますので、先ほどと同じ回答になろうと

と思いますがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）続いて、「ページ数は末の13ページの下半分に列記する」の御意図は内容を週刊誌であるような目次として13ページの下半分に列記してはどうかという御提案かと思うんですが、皆様の解釈はいかがですか。

古豊和恵副委員長 週刊誌のように、ページ数が百何ページと二百何ページもあるものならば、それをしてもいいかなと思います。13ページであるということはめくっても13枚ないわけですから、必要ないものではないかなと思います。

恒松恵子委員長 副委員長、ありがとうございます。そのほかありますか。

岡山明委員 副委員長が言われたように、13ページしかない中で、今、表紙にページ数を入れております。設問に対する回答は必要ないと思います。

恒松恵子委員長 現在工夫されておりますといった感じでよろしいかと思えます。最後に、「アニメはなしか、小さくしてよい」というのを別の意見として考えたら、分かりやすいと思うんですけど、「アニメはなし」というのが今イラスト対応を多用しておりますが、なしでよいという御意見かと思えます。編集室よりのイラストであるとか、一般質問については、書かれたイラストを付けられたりしておりますし、委員会レポートにつきましても、適当な写真がない場合はイラストで分かりやすく伝えておるのが現状でございますが、これについては皆様いかがでしょうか。

松尾数則委員 僕は一般質問のイラストをいいと思っているんですけど、アニメはなしかという意味合いの問題。これは令和4年のときの質問アンケートですよ。だから昔、アニメっていうか表紙に絵を使っていたから、アニメはなしという表現になったのではないかという気がしていますけど。

恒松恵子委員長 松尾委員の言う表紙がアニメというのかどうかの解釈は分かりませんが、イラストについては分かりやすく、また手に取りやすく堅苦しくしないための手段ですので、御意見として受け止めるということではよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、そのように回答したいと思います。続きまして、「市議会とは」、「市議会ってどんなところ、分かりやすく説明」という御意見でございます。例が、「市議会とは私たちの「山陽小野田市」を住みよいまちにするためにはみんながどうしたらよいか考えていかなければなりません。でも、みんなが集まって話し合うのは大変です。そこで、私たちはみんなの代表を選んで（選挙）、代わりに話し合いをしてもらいます。その代表が「市議会議員」で、議員の集まりが「市議会」です。市長もみんなで選んだ代表です。市議会では市長が計画した仕事やお金の使い方（予算）、市の決まり（条例）などについて、それでよいのかどうか、話し合って決めます。市長は、市議会で決まったことをもとに市の仕事を進めます。市議会と市長はお互いに意見を出し合い、協力して市民の幸せのために、いろいろ仕事をしています」という御提案でございます。これを読みときますと、議会だよりの令和5年6月1日号の説明が形式的で分かりにくいからモニターさんが分かりやすく書き換えてくださったのかなと解釈しました。あわせて、次の「市議会議員ってどんな人、分かりやすく説明、個人的な人物の説明ではない。」「傍聴、分かりやすく説明」例が「傍聴、本会議や委員会の様子を知りたい人は誰でも見学することができます。これを「傍聴」と言います。」「請願、分かりやすく説明」として、請願の例、「市の仕事は市民一人一人の暮らしにつながっています。市民は「こうしてほしい」という希望や意見を文書にして、議員を通して市議会に出すことができます。このことを「請願」と言います。議員を通さず市議会に希望や意見を文書にして出すことは、「陳情」と言います。」ということでこのモニターは議会について分かりやすく言い換える御提案を頂きましたので、今後こちらとしても分かりやすい表現に気をつけるということで、特段回答についてはどのように皆様お考えでしょうか。

松尾数則委員 今、委員長に読んでいただいた内容はアンケート用紙ですか。

（「アンケート用紙をまとめたものを頂いた」と呼ぶ者あり）言われたように、アンケートに答えるっていうのも、以前、市議会とはというので、いつか出されましたけれど、それはそれでいいんじゃないですか。

恒松恵子委員長 モニターのありがたい表現方法、このようにしてはどうかという御提案ということで、回答は特別差し控えて、御提案だけ受け入れていきたいということによろしいですか。（うなづく者あり）それでは、次のモニターの御意見です。「白黒なので、赤系の色を入れたら見やすくなると思います。」ということですが、皆様いかがでしょうか。

古豊和恵副委員長 赤系とは、全体的に赤色を入れるという意味でしょうか。

恒松恵子委員長 多分全体的です。現在表紙と背表紙はカラーでございます。

古豊和恵副委員長 赤っていうかカラーにすると、料金はどのくらい変わってくるものなのでしょうか。分かりますか。

恒松恵子委員長 事務局、お願いします。

末岡議会事務局議事係書記 今の白黒1色に赤を追加したら幾らになるかということですが、見積りを出しておりませんので、確認は取れておりません。ただ、1年前の委員会でも同じような話が出まして、そのときは、市広報紙のように、1色カラーを追加した場合は、たしか1ページ当たり6,000円上がるという回答があったと思います。

恒松恵子委員長 事務局の発言のとおり予算には限界がございますので、この中の広報紙のように緑を入れるとかいうのもございますけれども、カラー展開には限界がございます。私どもも文字を大きくしたり、白抜きに

したり、書体を変えるなり、特集ページにはメリハリをつけた編集をするなり、見やすい工夫をしていくという回答でよろしいですか。

岡山明委員 このカラーという表現ですが、今回のアンケートの中に同じような部分が結構あります。3項目の部分でもそういうカラーにしてくれというコメントがあるんだけど、市広報紙は白黒と青が入って、ページ数は28ページから30ページで、議会だよりは14ページ前後です。そうすると枚数的にも少ない中、広報紙は4ページがカラーで、議会だよりだと見た目のインパクトが違うんですね。そういう意味で今、先ほど予算という話もありましたが、やっぱり広報紙と同じ赤か青でもう一色ぐらい入れてもらって、14ページの枚数しかないから、その辺は予算を出していただいて、広報紙と同じように議会だよりを修正するというのを今後検討していただきたいと思います。

恒松恵子委員長 岡山委員がカラーにするように予算要求をすべきだという御意見ございましたが、皆さん、ほかに何か御意見はありますか。カラーについては見やすくするための手段の一つでございます。現在限られた予算の中で表紙をイラストのこの辺りにしか中身がなかったものをインパクトのあるものに変えておりますので、様子を見ながらやはりカラーの御要望もございますので、今後の検討課題ということで回答していきたいと思いますが、今年度についてはもう急に変更できませんので、今後の新年度に向けての検討課題という回答でよろしいですか。

矢田松夫委員 せめて写真ぐらいはカラーにしてほしいなど。例えば一般質問も白黒の画像だと全然分からない。イラストにする人もおるかもしれないけれど、現場の話を一般質問でしようと思ったらやっぱりカラー写真で、例えばトイレでも、イラストカット集を使うよりは、いかに古いのかの違い、さらに色をつけると迫力もある。一般質問でない部分でも、マイナンバーカードがあって、これは実際のマイナンバーカードをつけるとまた違うとかもいろいろあるけど、理科大もきらら交流館も、これ

は分かる。それも写真のほうが文字よりは高いんだろうかね。表紙の議員の写真はカラーだから見やすいよね。これを白黒にしたら顔写真も分からないよね。

恒松恵子委員長 分からないですね。今、矢田委員の御意見を集約しますと、このあたりの写真だけでもカラーにという御意見でございますが、写真だけカラーにしたところで予算はもうカラー刷りはもう全部カラー刷りですので一緒でございます。やはり今後の検討課題ということで同様の御意見は頂きました。議員としてもそのような気持ちがあるということ、を議会としてもカラーで伝えたいことがあるという。ただ予算に限りがあるという回答になります。

岡山明委員 予算、予算といわれるんですけど、広報紙は見やすいですね。青が入っている状態で、広報紙は二十何ページあってカラーが4ページです。議会だよりが2ページで、あとは全部白黒という状況やけど、カラー版は無理かもしれないけど、広報紙と同じような感じのもう少し青色をかけて、そうすると予算も安くなるでしょうから、印刷の形をちょっと変えてほしい。予算にもし融通が利くのであれば、1色加えるという考え方も、今後予算の関係があるけど、それは早めに検討できるものならしていただきたいと思うんですけど。

恒松恵子委員長 カラー版につきましては皆さんの意見が多々出ましたので、現在の広報紙の確認も併せて、暫時休憩をさせていただきたいと思います。

午後1時58分 休憩

午後2時18分 開会

恒松恵子委員長 それでは休憩を解きまして、委員会を再開いたします。先ほ

どの議会だよりをカラーにするということで、市の広報紙について事務局に聞いてきてもらいました。事務局お願いします。

末岡議会事務局議事係書記 参考で調べたところ、カラー１色を追加した場合は１ページ当たり５万２，０００円ぐらいになるかと思います。

恒松恵子委員長 そのように聞いてきていただきました。今後またその予算の関係もありますので、カラーにするなり前向きに検討するというところで、回答でいきたいと思いますがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）続きまして、「議員の写真は話している写真を使ってみてはどうですか」という御意見は、皆さんいかがでしょうか。

矢田松夫委員 どの場面をアンケートの人は答えて質問しているんだろうか。

恒松恵子委員長 議員が出ている写真とのことなので、一般質問のページだけ議員が出ておりますので、そのことではないかと思います。

矢田松夫委員 これもさっきのアンケートと同じように、予算的なものがあるから検討するしかないんじゃないですかね。

恒松恵子委員長 矢田委員のおっしゃるとおり、話している写真はカラーにしたほうがいいのかという御意見はないんですけども、一般質問のページは御覧のとおり吹き出しで話しているような雰囲気は出しております。今、表紙が変わりまして、議員の写真が表紙に出ることが多くなりましたので、動きのあるような写真に見えるように工夫したいという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それではこちらでまいります。続きまして、「議会であったことだけをレイアウトとして書くだけでなく、市民が年代を問わず、ちょっと思うことを言えることがあるといいと思う。伝えるときは、相手のことを知らないと一方的だと伝わらない。」という御意見につきましては、広聴特別委員会が開催する議

会カフェへの参加で思うことを言えますので、こちらの御意見は広聴委員会のほうにお渡ししたいと思いますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは続きまして、「ふざけた紙面は反感を招くと思いますが、遊び心のある紙面だといいかな。」という御意見につきましてはいかがでしょうか。これについては、ふざけたら市民の反感を招きますが、遊び心があつたほうが読みやすいという御意見だと思いますので、親しみやすい紙面づくりに努めていくという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは続きまして、「陳情、請願の類いについての内容と結果」という御意見でございます。現在、陳情、請願の内容と結果については、全てを掲載してないです。請願はほぼ掲載しております。広報としての方向性について、今後、請願は全部載せる。陳情を全部載せる。いろいろ方向があらうかと思いますが、方向性については、皆さんどのようにお考えですか。

松尾数則委員 今、委員長の言われた請願とか陳情を全て載せるという考え方は、多少反対したいと思います。やっぱりこの委員会で精査して、そういった内容を記載すべきじゃないかなと思います。

恒松恵子委員長 現在、陳情等つきましては、議会ホームページの中で、議会運営委員会の資料として掲載しております。請願についても、市民の関心じゃおかしいですけど。請願については、ほぼ載せておりましたので、請願については掲載しますという回答で皆様いかがでしょうか。最近請願がないものですから。全てでもないです。広報特別委員会で都度協議するという形でよろしいですか。

岡山明委員 請願関係は大体議会だよりに掲載しているんですかね。最近は全部100%載っていると。陳情に関しては載ってないけど、請願に関しては載っていると。（発言する者あり）

恒松恵子委員長 岡山委員のおっしゃったように最近の請願はほぼ載っており

ます。陳情については載ってない。掲載がほとんどございませんでした。ただ、請願の内容にもよりますので、議会だよりを発行の際に請願が出た号につきましては広報特別委員会で都度協議するという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、そのように進めてまいります。続けて、「議会にとってよいことだけでなく、よくないこと政治倫理審査会などうまくいかなかったこと山田議員の反省などについて、学びとしてオープンにすることで関心を持ってもらうこと。」という御意見でございます。現在、政治倫理審査会の結果については文書をそのまま掲載している状況で、よくないことについても伝えてほしいということでございますので、全てを掲載は無理にしても、議会のありのままをお伝えしていくという形になろうかと思いますが、御意見はございますか。こちらについても、議会としてはオープンに政治倫理審査会の結果についても掲載しておりますという回答でいこうと思います。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）続きまして、「文字を大きく様々な障害を持った方々に配慮したユニバーサルデザインを考慮した手法にしていきたい。」という意見でございます。現在調べましたら、他市、隣の宇部市では、議会だよりについて音声版、点字版を製作しています。そのほか、皆さん、どのようなお考えでしょうか。

松尾数則委員 ユニバーサルデザインに対する考え方は議会のほうも必要ではないかと思っています。ただ、手話で言うとか、それなりの費用がかかってくることもあると思いますので、検討するということができればいいでしょうか。

恒松恵子委員長 そうですね。ユニバーサルデザインに対する考えについては必要でございます。市の広報紙に準ずる形で、議会としても検討していくということでよろしいですか。ほかにはございますか。現在やはり確認したところ、市の広報紙はユニバーサルデザインとは、なってないようでございます。

松尾数則委員 市の広報紙は音声で、おとづれの会が出してないですか。

恒松恵子委員長 市はまた確認します。（発言する者あり）市の広報紙に準ずるという表現がちょっとおかしいので、ユニバーサルデザインに対する考えは議会としても必要であると考えていますという回答でいこうと思います。

中村議会事務局次長 このユニバーサルデザインというのは広い言い方だと思います。今の宇部市で音声版があるのは私も認識不足で存じておりませんでした。あと点字版もどこかの市は、これも宇部市もあるんですね。多分今うちは恐らくないと思います。間違っていたらすみません。また後日かどこかの委員会で訂正しますが、今うちがホームページを見る限りは、本市の広報紙は対応していないのではないかと思います。本市の議会だよりももちろんそうです。とはいえ、ユニバーサルデザインというのは、音声とか点字以外にも文字をもっと見えやすくするというのもその一つだと思います。それぞれの例えばQ & Aだとか概要だとかでいろいろ文字の字体を打ち分けています。明朝体を使ったりゴシック体を使ったり。そういうのはモニターの一部の方からも過去、文字が明朝体だと見えにくいのでゴシック体にしてほしいというような御意見もありましたので、それも含めてユニバーサルで、音声点字にこだわらなくても、ほかにも障害のある方が見えやすいようなもの。今の耳の聞こえがよくない方については、当然ほかにも方法とかも、目の視力の弱い方は音声のほうがいいという方、いろんな方法があるので、点字音声だけにこだわることなくもっと大きく見て検討できるかどうかという大局的なものの見方を委員会でされたらよろしいかなと思います。以上です。

恒松恵子委員長 今、事務局のおっしゃるとおり、ユニバーサルデザインについては音声、点字に限らず、いろんな考えがございますので、議会だよりとしても今後の検討課題ということでよろしいですか。続きまして、

次の御意見です。「まず、目につくのが漫画チックな表紙です。子供たちが手に取りたいようなものですが、各世代においてははどうでしょう。各世代の方に意見を聞きたいものです。内容は大変重厚なものが多く、子供たちが読むことはないと思います。偉い年寄りではなく、普通の各世代の市民にインタビューをし、各世代が読みたくなるような記事を書けたらどうでしょうか。」という御意見ですが、漫画チックな表紙というのは以前のイラストの表紙だと思われます。各世代の方に意見を聞きたいということで、前回中学生の議会傍聴の中で議会だよりについてもかなり意見交換をさせていただきました。内容は大変重厚なものが多く子供たちが読むことはないということですが、中学1年生でも分かるような議会だよりが編集方針になっております。あと最後に、お年寄りではなく普通の各世代の市民にインタビューをし、各世代が読みたくなるような記事を書けたらどうでしょうかということですが、偉い年寄りが議員のことを表現しているのかは分かりませんが、こちらは議会が発行するものだという回答になると思いますが皆様いかがでしょうか。「各世代の市民にインタビューを」というのが、確かに市民のインタビューをして議会に取り入れることも必要ですが、各世代が読みたくなるような記事を書けたらという御意見もございしますが、皆様、御意見はございますか。

松尾数則委員 以前、有帆竹灯会に話を聞きに行くこともしており、そういうことも当然必要なことではないかなと考えています。

恒松恵子委員長 以前、高校生の新聞部と意見交換をしたり、どさけんさんの御意見を聞いたりしました。そのような記事が発行できるように前向きに進めていくということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは次の御意見が、「文字の大きさや太さを変えており、全体的に読みやすいと思います。」については回答なく、ありがとうございますということによろしいですね。（「はい」と呼ぶ者あり）続きまして、「若者向けに議会のHOW TO部分があってもいいと思います。写真

の量を増やし、視覚的に分かりやすくしてもいいと思います。」という御意見については、先ほどの御意見にもつながりますが、カラーについては、表紙と裏表紙に限られております。また「市議会とは」のページを不定期に掲載しております。これが議会のHOW TO部分につながるという解釈でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）カラー写真は表紙と裏表紙に限られて、「市議会とは」のページを不定期に掲載しておりますという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、次の御意見です。「議員ごとの年間質問数（議会）などが記載されてもよいのではないのでしょうか。」の御意見につきましては、議員が何回一般質問したということが記載されてもいいのではないかという御意見だと思われませんが、皆様いかがですか。

岡山明委員 その答えとしては、来年度改選でもあるので検討と言うけど、年に1回か2年に1回ぐらいは出しても全部で4回出しますよね。年に1回ぐらいは、議員が何回一般質問したか出してもいいんじゃないかとは思いますが。そういうページ、量的に増やしても全然問題ないと思いますけど。

恒松恵子委員長 岡山委員から年間の質問回数を載せてもいいんじゃないかという御意見がございましたが、いかがですか。

松尾数則委員 私も大体質問数が少ないほうですから。けど、今後の考え方としてはいいかもしれないと思っています。毎年、その人たちの質問数を公表するということですね。

恒松恵子委員長 区切りの年度が非常に難しいので、6月から次の年の3月単位で考えて、この議員が何回質問しましたという記事が現実的かどうかは今後また委員会での検討課題ということでよろしいですか。それでは、議会だよりが終わりまして、次が市議会のホームページやフェイスブックの感想や改善点、掲載してほしい内容などについて御意見をお聞かせ

くださいということで、最初に、カラーの写真などを導入してはという御意見ですが、現在を申し上げますと、デジタル媒体ですので、ホームページについては議員の顔写真もカラー、文字は確かに黒です。フェイスブックについては、カラーで写真も掲載しておりますので、もうデジタル媒体なので既に行っていると思いますが、皆様御意見はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）意見もございませんので、もうデジタル媒体については既に行っているという回答になります。続きまして、今山陽小野田市議会のホームページを開いているが、フェイスブックとは最下段の「シェアする」「ツイートする」「LINEで送る」の総称を示していると思われます。これはThe市議会と比較すると、いつでもどこでも誰でも（識字能力、視覚障害などのある方には制限がある）というわけにはいかない。また、前期3項にはメールアドレス、パスワードなどを入力しないと見ることもできない。情報伝達、事務連絡などでこの手段を使われると、中継する者は大迷惑という御意見でございまして、確認しますと、市議会のホームページの下に「フェイスブックでシェアする」、「Xツイッターでツイートする」、「LINEで送る」のページがございます。これについては、見る人がLINEやフェイスブックを開くときにはパスワードが要るんですが、それを仲間にシェアする機能です。趣旨がこちらの方の御意見は十分理解できるんですけども、デジタルデバインドという言葉もございます。

岡山明委員　今お話に出たんですけど、私も見る限り、IDとかパスワードという項目がXとLINEにはあるんですよ。やっぱりIDとかパスワードとかいう最初の引っかかりが出てくると思います。スタートの時点でもうギブアップをすることもあるため、その辺は見直しじゃないけど、パスワードを入れないという私にとっては、大変難しい状況があると思います。その辺はどう解釈されたら。普通の人は思われるか、視聴不可かどうかをお聞きしたいです。

恒松恵子委員長　申し上げますと、市議会のホームページは誰でも見えます。

ただそのページをお友達に伝えたい、フェイスブックの友達に伝えたいというときは、御自身の岡山委員のフェイスブックのパスワードが要る。LINEのパスワードが要る。岡山委員がLINE、X、フェイスブックをお持ちでないと、パスワードの設定が要るということで、既にフェイスブックやX、LINEをお持ちの市民の方には非常に使いやすいツールとなっておりますので、その辺りをちょっとこの趣旨が多分岡山議員と同じような意図の御意見だと思いますが、その旨御理解いただけたらと思います。

岡山明委員　そこでタッチすると中身が見えるんです。見えるけど最初の時点でそういうIDとかパスワードとか表現があるから、知っている人はその次に渡すという、手渡しじゃないけど、最初に見た人がやっぱこれを説明だけじゃないけど、そしてその自分が送りたい人にメールですよってそういう形にしてもらわんと、最初にIDとかパスワードとかそういう表現されると。分かる人には分かるんでしょう。分からない人にとって分かるような形で書いていただけないかと思うんですけど、その辺は無理ですか。

恒松恵子委員長　先ほど申し上げましたとおり、議会のホームページについてはパスワードも何もなく、みんなで見ることができます。フェイスブック、X、LINEで市議会のページをお友達に伝えるためにシェアをしようと思うと、パスワードが必要となるということでございます。その辺りを御理解いただいて議会のホームページがパスワードなしでも誰でも見られる状態でございますので今後おのおのが使いやすい手段で議会情報を入手していただくという考えのほかにはないと思うのですが、事務局、いかがですか。これ以上の岡山委員に対して説明がございしますか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）今以上の説明はございませんので、そのように。ですから今の御質問の中にありましたように議会だよりという紙媒体とか、ホームページやフェイスブック、ユーチューブ、インスタグラムなど議会情報を発信しておりますので、おのおのが使いやすい

手段で議会情報を入手していただきたいという回答でよろしいですか。
では続きまして、四つまとめてまいりますと、「市議会ってどんなところ、分かりやすく説明。」「市議会議員ってどんな人、分かりやすく説明、個人的な人物の説明ではない。」「傍聴、分かりやすく説明」「請願、分かりやすく説明」先ほどの議会だよりのページにも同様の御意見ございました。聞きなれない用語については、分かりやすい説明をしたり注釈をつけたりしておりますということで、分かりやすく説明してほしいという意図は理解できましたけれども、聞きなれない要望は分かりやすい説明をしたり注釈をつけたりしている以外の回答はないと思いますがいかがですか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それではこちらでまいります。続きまして、ホームページについての御意見です。「議員紹介で議員の年齢や紹介が少ない。いろんな情報があれば興味を持ってもらえるのではないか」という御意見でございます。現在の状況をお伝えしますと、顔写真と住所と電話番号を載せております。年齢や自己紹介については非公表で、当議会のホームページでは公開されておられません。これについて御意見はございますか。

矢田松夫委員 個人のメールアドレスを載せているところもある。私は本人が希望すれば載せてもいいんじゃないかと思う。

恒松恵子委員長 メールアドレスについては、広報特別委員会として今後議員の希望があれば掲載するというところでよろしいですか。

矢田松夫委員 それがイコール、情報があれば興味を持ってもらえると思う。議員、議会だね。それにつながると思うけど、いろんなメリット、デメリットあるかもしれんけど、それはあくまでも本人の希望であればいい。嫌なもの載せることはないし、一律にね。ホームページ、議員の紹介のところに、ほかに載せるものもないでしょう。

恒松恵子委員長 ホームページの議員の紹介は他市を見ますと年齢もあんまり

載ってないですし、自己紹介ももちろん公的なものですから載っておりませんので、メールアドレスについては議員と連絡が取れるということで、今後希望があれば掲載するということで、今回広報特別委員会としては意見が一致したということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、ホームページを載せるということには、全員賛成でございますので、顔写真と住所と電話番号、ホームページアドレスを掲載しているが、メールアドレスについても掲載するようにするというので、広報特別委員会がまとまりましたが、事務局にお尋ねです。メールアドレスの掲載については、御都合上いかがでしょうか。

中村議会事務局次長 一律に皆さんが言い続けてくれるのかというところが一つあるのはあります。一応アドレスも個人情報と言われているものであったけど、議員の場合は、何かではじかれるとかあったのかもしれませんが。電話番号は今、当然載せていますので、当然載せているところもあります。簡単に言えば、議員の皆さんがよければ問題ないということだけ。事務局の手間は打つだけです。

恒松恵子委員長 議会運営委員会に諮らなくても広報活動ということで。

中村議会事務局次長 全議員に確認が必要になるかもしれません。広報特別委員会で決めたから、これに従えばちょっと乱暴なのかもしれません。新たな試みになろうかと思います。

岡山明委員 メールアドレスは当然個人のですね。そうすると委員会で、全議員がメールアドレスを公表するかどうかは、申し訳ないけど広報特別委員会で話しをする問題じゃないと思うんです。全議員という対象で話がありましたが、それはほかの例えば議会運営委員会とかでそういう話を持って行かれたほうが、ここで全議員がと私は広報特別委員会が持っていないほうがいいと思いますけどね。

恒松恵子委員長 岡山委員のおっしゃるとおり、先ほど中村次長のほうから御意見がありましたので、議会運営委員会に諮るなり、メールアドレスを掲載することに関してはここで決めるのはすいません、早急な判断でございましたので、今後どのような手段を取って、メールアドレスを載せることができるようになるかはまた調べていきたいと思えます。情報が少ないとのことですので、今後、市民に伝える議員紹介で増やせる情報としてはメールアドレスが考えられますということが回答になろうと思えます。よろしいですか。

古豊和恵副委員長 メールアドレスは全員を対象とするのか、それとも、希望者のみが載せるのかは後々ですか。

矢田松夫委員 さっき言ったように、私の意見は希望者です。全員載せるとかはできないでしょう。できないから希望者です。

恒松恵子委員長 全員というのは乱暴ですね。

矢田松夫委員 これはやっぱり意義というか、メールアドレスを載せる目的をはっきりしとかなないといけない。ただ単に面白半分に掲載すればいいというものではなく、この広聴特別委員会の中で、何で載せるのか。その結果どういうことがあるのか。それをしっかり議論しないと。例えば議会運営委員会の中で、恒松委員長、何でこれを決めたのかとなるから、やっぱりその辺はしっかり議論しておかないと。ただ、僕が言ったさっき情報伝達とか何かあったね、最後。それに直結するだろうということで、例えば手段として、メールアドレスはどうなのかと申し上げた。ほかに興味をそそるようなものがあつたら委員は言ってください。僕は一つの例として挙げたんやから。

恒松恵子委員長 そうですね。おっしゃるとおり市民の皆さんにお伝えする情報といたしまして全員、希望者にするかとか、機会があれば議会運営委

員会のほうにお邪魔して、広報特別委員会として説明してまいりますので、それで皆様、御理解をお願いします。

矢田松夫委員 ほかにありますか。

恒松恵子委員長 私の知る限り、あまりその個人の紹介をホームページに載せているとか少ないような気が（発言する者あり）

矢田松夫委員 いろんな情報があればと書いてあるから、いろんな情報をここを出さないといけないと思うんだよね。この委員会の中で。ここに書いてあるいろんな情報がどういうことがあるのかと、議会に興味を持ってもらう。

恒松恵子委員長 そうですね。議会運営委員会とともにこれから協議していきたいと思います。では次の「フェイスブック、若い人がどれぐらい見ているのか分からないが、他のSNSの活用も検討してみてはいかがか」ということで、この委員会になって検討しまして、インスタグラムをこのたび導入しました。ということで、インスタグラムを導入したという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、そのように回答します。続きまして、見ていませんでという御意見につきましては、そうですねということで特に回答は控えるということでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）続きまして、「ホームページの新着情報が有効に活用されていないように感じます」という御意見でございます。現在議会のホームページには新着情報といたしまして、議会報告会、議会カフェを開催しました、本会議の日程、議会だよりを発行しました、定例会参考資料を掲載しています、ということで、リアルタイムに今日委員会がありますとか、そのようなことが掲載されてないという方が、こちらの御意見いただいた方の趣旨かなと思います。皆様、そのように捉えられましたがいかがでしょうか。

矢田松夫委員 有効に活用イコール更新をされていないということじゃないかと思うんです。よその市議会のホームページ見ると、まこと平成何年か前のもそのまままだ掲載している議会もホームページあるわけやけど、僕は本市についてはよくやっていると思うよ。毎回毎回ね、タイムリーにやっておると僕は思うんだけど、これ以上何をしろというんだらうかね。

恒松恵子委員長 現在、委員会の開催の日時とか内容については新着情報というところには上がっておりませんが、もうスケジュールを見ればこまめに掲載されておりますので、こちらについても、もう有効に新着情報には載らないけれども、委員会の開催日時や内容、資料などについては、随時、適宜ですね、日々更新しておりますという回答でよろしいですか。

岡山明委員 議会事務局に聞きたいんですけど、ここに書いてある協議会は除くという表現が大体入っていませんよね。協議会はこのスケジュールの中に入れるっていうのは、おかしいんですかね。例えば今日となると、広報特別委員会ですけど、例えば広報特別委員会協議会とかそういう形で日程の中に、カレンダーの中に組み込むというそういう考え方はないということですかね。

恒松恵子委員長 岡山委員、広報の編集会議は中継がありませんということでホームページに載せております。

岡山明委員 それを例えば協議会でやるという、そういう形で協議会だけはやるというスケジュールをカレンダーの中に落とし込むってことは、それはしないほうがいいっていうのがよく分かりません。その協議会の考え方っていうのは。

恒松恵子委員長 岡山委員、それにつきましては、また改めて聞いてください。先ほどのホームページの新着情報とつながるんですけれども、次の質問が、「議会のカレンダーに掲載されている事項、本会議、一般質問、委

員会、市民懇談会などの日程決定や、開催当日の案内、非公開であっても研修会の開催などを事細かくこまめに掲載することで、ちょくちょく開いてみることにつながるのではないかと思います。」先ほどの御意見と一緒に、本市のホームページは事務局のおかげでこまめに掲載されておりますので、回答につきましては、そのようになろうかと思いますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、時間もたちましたので、3時5分まで休憩したいと思います。

午後2時55分 休憩

午後3時5分 開会

恒松恵子委員長 それでは、休憩前に引き続きまして委員会を再開いたします。

次の御意見でございます。「委員会や定例会や本会議の動画配信を山陽小野田市の公式のユーチューブチャンネルでされていますが、本会議を視聴していて、一体議員の中でどなたが発言を述べているのだろうと感じるときがありました。ですから、9月定例会のときと同様に、委員会でも指名をされ、最初に議員が発言したときに、議員と名前と発言内容も字幕を入れていただきたいとの御意見です。」現在、委員会も指名をされてから発言するというふうにはなっておりますが、委員会のときの議員の名前と発言内容を字幕に入れるということについて、取り急ぎ、事務局の考えをお聞かせいただけたらと思います。

末岡議会事務局議事係書記 現在委員会はユーチューブでライブ配信しておりますが、書記がかかりつけでユーチューブ、パソコンの前で作業することは難しいと考えております。あとほかにも、お金を使えば、そういったソフトがあるのかもしれませんが、そこまでは研究しておりません。

恒松恵子委員長 事務局からそのような発言がございました。確かに委員会のライブ配信をするにはマンパワーも必要ということでございます。現在

指名される名前は出ませんが、ユーチューブの機能の一つとして、字幕オンというのがございます。変換は発言をそのまま日本語に変えるのでなかなか完璧ではありませんけれども、そちらを活用いただけたら字幕が使えるということです。この回答につきましては、精査したけれども、現在ではなかなか難しいので、取り急ぎユーチューブの字幕を活用してほしいという回答でよろしいですか。そのほか皆様いいアイデアをお持ちですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、ユーチューブの字幕を活用してほしいという回答でいきたいと思います。続きまして、「議事録検索システムについてですが、もっと文字を大きく濃く、見やすいようにしていただきたいです。それから議事録の検索をするときのチェック項目を簡素化することはできないのでしょうか。」ということについてでございます。現在、詳細検索と文字の拡大機能につきましては議事録検索システムにございます。皆様、御意見はありますか。先ほどの御意見同様に、やはり費用お金をかければというところもあると思いますが、現在使える文字拡大機能や詳細検索を利用していただきたいという回答でよろしいですか。

松尾数則委員 検索を云々という話でありますけれど、結構、十分使いやすいような気がします。これ以上の検索を何か上げる手段があるなら話は別でしょうけど、僕は今のままでも十分かなという気がしています。

恒松恵子委員長 確かに慣れればというか、文字拡大機能や詳細検索もあります。議員名でもできるし、時期でもできるし、内容にもよって検索機能は充実しておると思いますので、今のものを利用していただきたいということできたいと思います。それでは次の、それから配信時の音声をクリアに聞き取りやすくしていただきたいということですが、これはもう議員がマイクに近づくようにするということしかありませんし、なるべく聞き取りやすい発言を心がけるということになりますが、よろしいですか。続きまして、先ほどにも御意見がございましたが、ホームページも様々な障害を持った方に配慮したユニバーサルデザインを考慮して

いただきたいということでございます。現在、議会のホームページは山陽小野田市のホームページの中でございます。それを踏まえて、皆様、御意見はございますか。こちらにつきましても、議会としてできることから進めていくという回答でよろしいですか。

矢田松夫委員 市のホームページ見ると、障害者に対して何か書いていたけど、何やったかな。

恒松恵子委員長 確認する限り、市のホームページには文字の拡大とか背景の色を白や黒にするとかがあります。

矢田松夫委員 それ以外にも障害者に対して、一番上の欄に書いてある。

恒松恵子委員長 それ以外につきましては、ホームページを見る限り確認はできておりません。

矢田松夫委員 何か書いてなかったかね。例えば、議会のホームページ見るときに、障害者が見るときに、どうなんかね、例えば視覚障害者が見るときどうなんかね。見られんよね。（「はい」と呼ぶ者あり）音声でないよね。色弱の方はどうなんかね。色を変えるのがあったよね。

恒松恵子委員長 市のホームページには、背景色を白、黒、青に変更することができます。

矢田松夫委員 うちのホームページにはないよね。

恒松恵子委員長 ホームページの中にもう色を変えられますので、見ようによっては、背景は青が見やすいとか黒が見やすいとか、それぞれ目の状態に合わせて変えられるかもしれないです。議会も市と同様に市のホームページの背景を変えたら、自動に背景も文字の大きさも変わるようになる

ります。

矢田松夫委員 今できていますよね。

恒松恵子委員長 その対応はできております。

矢田松夫委員 ほかにはなかったですかね。そういった障害者の方にやさしいホームページ。

恒松恵子委員長 今のところ、シティーセールス課に確認はしておりませんが、今、市のホームページ、ユニバーサルデザインで検索しましたが、特別何も今は出てこない状態でございます。市のホームページの中に初めての方へというのがございまして、印刷とかメニュー構成等があります。ただ、それは視覚障害の方にはちょっと伝わらないかなと。こちらにつきましても、機能としては背景色の変更と文字の拡大縮小が現在はあるので、できることから進めていくという回答でよろしいですか。続きまして、「フェイスブックやホームページを見るお年寄り」は10人に1人もいるのでしょうか。パソコン勉強会を開催しても僅かな方しか参加されないと思います。お年寄りには議会だよりは難し過ぎると思います。地域の議員さんが、地域のお年寄りからお話を聞いて載せたらどうでしょうか。〇〇地区触れ合いインタビューなど。他の世代はこれでもいいと思います。各世代が興味を持つ内容にしていきたいと思います。」という御意見につきましては、市の広報もございますが先ほど高校生との記事を書いたとか、まちづくりの方との町の広報紙をつくっている方との載せたということもございまして、そちらの回答と重なることにはなりますが、それでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それではそのように回答いたします。続きまして、「ホームページやフェイスブックを活用されていますが、どのくらいの方が見ているのでしょうか。」ということで、フェイスブックについてはお友達の数でカウントできます。今インスタグラムにつきましても、フォロワー

数で確認できますので、ホームページのカウントにどのぐらいの方が見ている、委員会中継とかは何人視聴中というのはございます。その辺りの数を調べてからのホームページについては、一般的な市議会のホームページの閲覧数については、事務局のほうで分かるものですか。内部的に何人見たとか見ないとか、カウントがあるかどうかの確認です。閲覧についてはカウントがないので、現在フェイスブックのお友達の数とインスタグラムのフォロワー数をお知らせするしかできないということで回答はよろしいですか。

岡山明委員 市のほうでホームページにソーシャルメディア一覧表の中で、フェイスブック、X、インスタグラム、ユーチューブという項目はありますよね。そこでアカウントの数が集約できるのではないかと私は思うんですけど、分類別のアカウントという部分で、山陽小野田市議会は、インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブのアカウント数は掌握できないですかね。これは市のほうで掌握していると思ったんですけど、アカウントの数は分からないということですかね。

恒松恵子委員長 今、岡山委員がおっしゃったのが、山陽小野田市ソーシャルメディア一覧というのがございまして、ソーシャルメディアポリシー。今インスタグラムを活用するに当たって広報特別委員会が指針にしたものと、フェイスブック、X、インスタグラム、ユーチューブを市がやっておるというのがありますが、カウント数についてはありません。閲覧数については表示がありませんので、今申し上げた回答になります。

岡山明委員 その延長線で下にあった山陽小野田市議会のインスタグラム、あとフェイスブック、ユーチューブ、その数も結局分からないという状況ですかね、そうすると。

恒松恵子委員長 岡山委員よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは次の質問でございます。「フェイスブックのページの認知度を高める

試みが必要だと思いますという御意見につきましては、現在、議長がトップセールスを行い、名刺にQRコードを入れて、市のフェイスブック、インスタグラムをPRしていただいております。議員についてもそれぞれフェイスブック、インスタグラム等で友達になられたり、紹介するなりされていると思いますけれども、そのほか御意見はございますか。もう御意見がないので、認知度を高める試みとし、フェイスブックの認知度を高める試みとして議長がトップセールスを行い、議員もおののおのそれぞれ努力しておるということによろしいですか。

中村議会事務局次長 岡山委員のおっしゃっていたのは、今、本市議会がやっているSNSでは、フェイスブックとインスタグラムがあって、あとその他ユーチューブがあって、あとホームページで情報を出して、市から出している情報はデジタルコンテンツを使っているものは四つかなと思います。フェイスブックとインスタグラムについては、いわゆるリーチ数とかエンゲージメント数、要は見に来た人の数は把握できます。で、ユーチューブはもうこれもアカウントひよっとしたらできるかもしれない。ちょっと僕、まだそこまで詳しく分からないので。ユーチューブもひよっとしたらできるかもしれません。再生数ではなくて、何人がアクセスしたか分かるかもしれません。ホームページもいわゆるホームページの実際の作成のところから見られるかもしれませんね。これはちょっと調べておきます。恐らく方法によってできるんじゃないかなと思います。今はっきり把握できているのは、フェイスブックとインスタグラムについては、見に来た人の人数を把握することはできています。すみません、遅くなりました。

恒松恵子委員長 私が申し上げたのを訂正しまして、事務局で閲覧数が調べられるかもしれないとのことですので、調べた結果によってやっていきたいと思います。どのぐらいの方が見ているのでしょうかについてですね。続きまして、ホームページはデザインが市のサイトとほとんど同じなので、雰囲気を変えてもいいかと思いますが、こ

れについて御意見はございますか。これは他市町同様に、市のホームページ内に議会のホームページがあることがほとんどですので、市のサイトと同じということはやむを得ないかと思いますが、皆様御意見はありますか。議会独自の政策は難しいという回答でよろしいですか。それでは続きまして、「いいねのカウントを見るとほぼ同じ人がフォローしている。閲覧数を考えると、継続か停止することも踏まえて協議する必要あり。」については、多分フェイスブックだと思います。同じ方のいいねが散見されますので、継続か停止することも踏まえて協議ということでございますが、皆様御意見はありますか。フォロワー数を増やすために議会も代り映えのしない内容ですが、議長の動きなど更新のために努力をしております。またフェイスブックのことだと思いますけれども、無料でございますので継続が停止することも踏まえて協議とございますが、継続する方向性で皆様よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）

この後は急ぎこちらで回答します。続きまして、「誰に向けて情報発信しているのか明確にしたほうがよい。ターゲットを絞るか若者向けではない。」との御意見でございます。若者向けではないということで、前回中学生との意見交換もいたしました。また市民全員に見てもらうというターゲットでありますので、議会だよりも作成しておりますし、ホームページもあるし、フェイスブック、ユーチューブ、インスタグラム、今新しく始めました。議会情報を発信しております。入手しやすい媒体で、情報収集していただきたいという回答かなと思いますが、皆様御意見はありますか。様々な今広報手段を使っておりますので、誰に向けてというのはもう市民に向けてとしか言いようがございませんので、この回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では続きまして、3のこれからに向けてですね。どのような広報活動が必要であり、有効策と思うか御意見をお聞かせくださいということで、一つ目が、「町へ出向いて市民にインタビューして、市議会などへの助言、感想などの意見を聞く欄を新設しては。」です。市民にインタビューで市議会等への助言や感想の意見を聞く欄、これが議会だよりなのかホームページなのかがちょっと明確にされておられませんので、こちらの御意見につきまして

は、広聴特別委員会抜きにしては回答が出ないので、広聴特別委員会とともに検討するということによろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では続きまして、「より多くの市民が市議会の活動に興味を持ち、自分のこととして捉えてもらうためには広報活動は必須だ。現在私が知っているものはT h e市議会だけである。9月29日の市議会モニター意見交換会の出席者からの意見で、「議会を閉じた後は、3か月後でないと次の議会は開かれず、市民への周知伝達も遅れる。」があった。これでは遅い。市民に配布させる小冊子は、「広報さんようおのだ」が一番大量で期間も半月に1回である。この小冊子は「市議会コーナー」を設け、課題を伝えてはいかがか。」というところでございます。これが令和3年9月29日、3年前の御意見だと思われます。今、「広報さんようおのだ」は半月に1回が月に1回になりました。市はL I N Eで迅速な情報提供をしております。今、「広報さんようおのだ」の中で、広報紙の議会の日程とか議会カフェの開催については、誌面に事前に分かっておれば掲載していただいております。皆様、御意見はありますか。では広報紙も月に1回の発行となりました。広報紙のスペースには限りがある中ではありますが、議会として十分な情報発信ができるのかを検討するという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それではこちらでいきたいと思えます。また先ほどからいろいろ御意見を頂いております。次の御意見です。「市議会ってどんなところ、分かりやすく説明。」「市議会議員ってどんな人、分かりやすく説明。個人的な人物の説明ではない。」「傍聴、分かりやすく説明。」「請願、分かりやすく説明。」先ほどの、同様に御意見として回答はなしということできたいと思えます。よろしいですか、こちらの御意見について。（「はい」と呼ぶ者あり）次に「課題を絞って、その経過を発信してみるのはいかがでしょうか。」という御意見でございます。これは、前回の議会だよりのアンケートの中で、建物を建設したときにそれで終わりではなく、継続した記事が欲しいという内容があったと思います。それに準ずる内容ではございますので、その際の回答と同様に、大きな箱物を建てるような事業があったときは議会として情報発信に努めるという回答でよろしいですか。（「はい」

と呼ぶ者あり）続きまして、「ターゲットを絞って（高齢者、子育て世代など）、知りたい必要と思える情報を発信してはどうか。」という御意見でございますが、皆様、御意見はありますか。そもそも、議会だよりにターゲットを絞るという考えが必要なのかということについて、皆様御意見はありますか。

古豊和恵副委員長 より多くの方に読んでいただく、見ていただく、聞いていただくもので、ターゲットを絞るっていうのは逆の考え方なので、やはりちょっと違うんじゃないかなと思います。

恒松恵子委員長 ありがとうございます。議会なので審議したことを伝えるということになりますので、議会だよりにターゲットを絞るという考えはちょっと今のところ考えられない。議会なので審議したことを粛々と伝えるという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では続きまして、「中学生、高校生にも積極的に関わる機会をつくって、興味を持ってもらう取組も必要と思う。」という御意見ですが、この意見、これが令和4年でございます。中学生の議会傍聴、令和5年から開催いたしました。高校生との関わりといたしましては、厚狭高校の新聞部と広報特別委員会の委員長、副委員長で対談しまして、その中で改善できること等を記事にしたこともございます。ほか皆様、御意見はありませんか。ということで、回答は中学生の議会傍聴、令和5年から開催しております。その後、意見交換会もしています。過去には高校の新聞部と対談をしたこともあるという回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）今後機会があれば先ほどもありましたとおり、出向いて広報について市民と話をするなり進めたいと思います。次の御意見は「的を絞るとかまだまだ工夫が要ります。できないじゃなく、大学、高校、中学生の意見を聞いてしたら、もっといいアイデアが浮かぶのでは。広報する原点をもう少しきちんと考えるべきと思う。」です。「広報する原点」というお言葉、「的を絞る」とか「工夫が要る」という言葉がございますが、皆様、意見はありますか。先般、先ほどですけれども中学生の議

会傍聴を実施していろんな御意見を頂きました。高校、大学についても、学校の協力が必要であると思いますが、検討するということによろしいですか。特に理科大生等ですね、協力いただけたところはいろんな御意見を賜るように努力はしたいと思います。続きまして、「質問の具体策はもちろん大切ですが、「山陽小野田市議会」の売りは何でしょうか。その「売り」を明確にしてそれを生かすための諸策を考え実行していくという、一つ一つの積み上げが必要ではないかと感じています。」市議会の売りは何でしょうかというそもそも議会に売りがいるのか。売りを明確にして生かすための諸策を考え実行していくということ。一つ一つの積み上げが必要であるということもおっしゃるとおりだと思うんですけども、こちらについて皆様、解釈あわせて御意見はありますか。市議会に売りが要するという考えにつきまして、皆さん御意見ありますか。売りは必要ないですか必要ですか。

古豊和恵副委員長 市議会の売りについて、よく理解できてないんですけど。

恒松恵子委員長 売りというと、一般的には最もアピールすべきところというか、市議会といえどということと解釈しました。一つ一つの積み上げを大切に重ねてまいりますという抽象的な回答になりますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）では、そちらの抽象的な回答でまいります。続きまして、「山陽小野田市のテーマである「スマイルシティ山陽小野田」という言葉とロゴをより多くの方々に知っていただきたいです。そのために、山陽小野田市議会の定例会や委員会や本会議が始まる前にスマイルシティ山陽小野田という言葉とロゴを主張している方々が思わず注目してみるように、例えば音と動きをつけて表示してみるというのはどうでしょうか。そして、その表示の後に定例会や委員会の映像が始まるというのはどうでしょうか。缶バッジと封筒も引き続き継続していただきたいです。」という御意見で、最後の缶バッジと封筒については、もう引き続き継続しております。動画をつくって動画を流して、さあ委員会ですというのが議会になじむのかどうか。現在、議会の休憩

中には皆さんもユーチューブ等で見るとき、スマイルシティのロゴが目につくと思います。動きはありません。御意見がございませんか。回答としては、「委員会休憩中には、スマイルシティのロゴを表示しております。できることから始めてまいります。」という回答でよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ということで御意見として頂きました。続きまして、「①②の内容は有効な広報活動に当たると 생각합니다。市議会モニターの意見を掲載することで、市議会や委員会に関する市民の意見が少しでも反映されればと思います。内容はすばらしいと思いますが、白黒ばかりで読みにくい。予算はどこから出るのか分かりませんが、カラーにしていただけたらと思います。もし市の予算であれば、広報並みに予算要求をしてほしいと思います。」先ほどのカラーに対する御意見がございました。それと同様の、こちらの方も白黒ばかりで読みにくい、カラーにしてほしいということで、「市の予算であることは間違いございません。市の予算であればとありますので、市の予算、議会の予算でございします。」という先ほどと同じような回答でよろしいですか。続きまして、「委員会や報告なども必要ですが、市議会のPR動画や仕事内容を分かりやすくまとめた動画などがあってもいいかと思います。」という御意見ですが、既に議会報告動画を始めておりますけれども、皆様いかがですか。

古豊和恵副委員長 まずできることからということで、今、このたび始めますけれども、それをまず始めて、次の段階に進むのはそれからでいいと思います。

恒松恵子委員長 そのような御意見がありまして、確かに議員の仕事内容は議員についてそれぞれみんな異なりますよね。議会活動以外の議員活動についてはですね。市議会のPR動画や1人の議員に特化したものは、どうしても議会としてはつくりにくいと思いますので、議会動画を始めておりますという回答になろうと思いますが、よろしいですか。製作しにくいとかいう言い訳はなしで、議会報告動画を始めていますという回答

でいいですか。（発言する者あり）続きまして、「中身に関してはとても大切な情報であり、見れば理解はできるように記されていると感じる。」は肯定的な御意見でございますので、そのまま回答はなしで、ありがとうございますで終わります。続きまして、「市民全体に知ってもらいたいのか年代を絞って発信するのか、考えてもよいと思う。」という御意見でございます。先ほどから、ターゲットを絞るとか売りを見つけろとかいうそのお考えと一緒にかなと思いますが、議会基本条例では広報活動について多くの市民に知ってもらうとあるということを念頭に、皆様御意見はありますか。議会だよりで年代を絞ることが必要でしょうか。

松尾数則委員 改めて問われると、基本的には僕は先ほど言ったように、議会報告会じゃなくてから、議会基本条例等も含めて、年代を絞ってというのは、やはりちょっと問題があるような気がするんですね。

恒松恵子委員長 確かに貴重な御意見ではございますが、年代を絞ることについては、多くの市民に知ってもらうという議会基本条例もありますので、「考えてもよい」と思うという御意見ですが、議会基本条例で多くの市民に知ってもらうとありますというような回答でよろしいですか。では続きまして、「若者はフェイスブックではなく、インスタグラム、T i k T o kを活用している。」T i k T o kは動画配信です。こちらにつきまして、いかがですか。取り急ぎ、インスタグラムはこのたび開始しました。T i k T o kはちょっと動画なので、議会になじむかどうかまだまだ難しいので、インスタグラムは開始したという回答でよろしいですか。

松尾数則委員 例えばT i k T o kあたりもそういった形で発信している議会なんてあるのかな。結構面白いかなとは思ったもんですから。

恒松恵子委員長 面白くはあるんですけども、すみません。これについては、

またこの回答をまとめて皆さんにお示しするまでに調べておきたいと思います。インスタグラムでも動画発信はできますので、よその市議会、T i k T o kはどうか調べておきます。次に、最後のモニター様の御意見でございます。「若年層の投票行為や市政への意識を高めることが、これからの山陽小野田市に必要と考えます。」もちろん投票行為や市政の意識を高めることが必要なのは、おっしゃるとおりでございます。皆様の御意見なければ、主権者教育につきましては選挙管理委員会、また別のステージで考えることですね。近年の投票率がどこも下がっております。これについては、私はいいとは思っておりませんが、皆さんも投票率については、もうちょっと上げたいというのはもう皆さん思っておりますので、こちらについても主権者教育について、選挙管理委員会とともに議会として検討するという回答でよろしいですか。（発言する者あり）別にそうですね。議会に対して頂いた御意見ですので。

中村議会事務局次長 別のステージというのはどういう意味でしょうか。もう一度すみません。

恒松恵子委員長 別のステージというか、主権者教育については議会でどのように行うかはまだ決めていないとかそういう趣旨です。

中村議会事務局次長 たしか議長会から来ていた文書だったかと思うんですけど、もう議会側も主権者教育を取り組まないといけないよというのが来ています。これまで研修等で、これまでの議会は、主権者教育は議会側がすることではないということだったと思うんですけど、今は全国の流れが変わってきています。ここだけ御認識いただいておりますので、今後は全国的に変わってきていると思います。

恒松恵子委員長 勉強不足ですすみません。議会としても取り組んでいくということですので、精査してまた回答ができたときに皆さんで確認していただけたらと思いますので、議会としてもこれから取り組んでいけるよう

にやっていきたいと思います。取り急ぎ議会に対するモニターさんからの意見については、以上で付議事項１については終わりました。今後の流れにつきましては、今の議会モニターへの回答についてまとめたものを次の委員会で確認をして広報特別委員会からの回答としたいと思いますが、それでよろしいですか。以上で付議事項１について終わります。続きまして、付議事項２、Instagramの動画発信についてでございます。先日の委員会で、取り急ぎ１２月議会から一般質問をする議員に限って、１分以内の動画を撮って、一般質問初日までにInstagramで配信するということが協議されました。それに先駆けまして、今後、Instagramで一般質問する議員に動画を開始しますという予告動画を発信、準備が出来次第、発信したいと考えておりますが、それについて皆様、御意見はありませんか。これから始めます予告動画を発信することについての是非をお伺いしております。

松尾数則委員 これは面白い試行だからいいと思いますが、これはどういう流れになりますか、議運にかけるとかいう流れになるのでしょうか。

恒松恵子委員長 広報特別委員会で決めておりますので、皆様それぞれ会派にお話されたと思いますし、無所属議員、無所属政党会派につきましてもいらっしゃいますし、いらっしゃらない会派については話はしております。広く対象にするので、いきなり一般質問動画という前には、また閲覧数も増やしたいので、予告として、この１２月議会から一般質問する議員が、動画で皆様に情報をお伝えしますというような動画を発信することについての是非でございますが、皆様御賛同ということでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）

古豊和恵副委員長 もちろん賛成ですけれども、１２月議会から始めるのであれば、このたびのこの議論に、それは載せるのでしょうか。（発言する者あり）

恒松恵子委員長 動画配信につきまして前回の広報特別委員会で決定しましたので、現在、各会派で御説明いただき、政党会派の方、無所属議員、もう一方の政党会派には私から説明しておりますが、議会だよりの締切りも終わっておりますので、取り急ぎ一般質問する議員の発信は一般質問の前日までに配信するという事で、前回決めております。それに先駆けて、山陽小野田市議会の広報活動として、このような動画をつくって流しますよということを私がこれから始めますという動画を発信することが決まったことですがよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）事務局、補足はありますか。（発言する者あり）ということで、皆さん御承諾いただいたということで随時流していきます。その際にはまた御連絡しますのでよろしくお願いします。続いて、付議事項３のその他ですが、何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは、以上をもちまして、広報特別委員会を終了いたします。

午後３時４８分 散会

令和６年（２０２４年）１１月１８日

広報特別委員長 恒 松 恵 子